



広島西ロータリークラブ会報

No. 2071

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

例会日・木曜日 12:30~13:30

例会場・ANAクラウンプラザホテル広島

会長 井原 俊彦

幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78

リーガロイヤルホテル広島13F

TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870

E-mail:hwrc@godorc.gr.jp

広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ
「ユーモアでロータリーに
もっともっと笑顔を」

「雑誌 月 間」

2012年 4 月 19 日 第2047回例会

◆ 会長時間 ◆

井原会長



ロータリーはアイデアの交換の象徴

皆さん今日は、最近マット・リドレーという科学ジャーナリストが書いた“繁栄”（早川書房2010、10）という本

を読みました。

リドレー氏によると、近代いつの世も多くのメディア、評論家、知識人が経済崩壊、貧困増大、環境汚染、格差拡大、放射能汚染、宗教対立などなど、我々人類が破滅に向かうかのような悲観的な未来予測をしてきましたが、人々の寿命、生活パターン、時間の節約度、貧困状態どれをとっても我々人類の生活レベルは地球規模で向上してきており、歴史をみると今より良い時代はないし、色々あっても今後も良くなる、のだそうです。

理由は人類の歴史上、恐らく10万年位前から交換と分業が広がってきていて、生物が生殖によって進化してきたように、人々がお互いに依存し合って、アイデアを融合させて組み替えることによって文化が累積的に成長してきたからだそうです。言い換えると、生物が何十億年もかけて現生人類へと進化して来たのと同じ様に、人間の文化は単に伝承されてきたのではなく、色々なアイデ

アが10万年以上も前からつがうことで自己複製し、突然変異をし、競争をし、淘汰し合って蓄積し始めてきた、というのです。

ロータリーは107年前に弁護士、石炭商、仕立屋、鉱業エンジニアによって始められ、次第に多種多様な職業人が加わることによって相互依存が深まり、交換、分業、アイデアの融合が繰り返されることによって進化、拡大し繁栄してきました。ロータリーは現代におけるアイデアの交換の象徴とも云えるのではないのでしょうか。もし各クラブにおいてメンバーが例えば法学部卒の人々で大部分を占められていたら、或いはどこか一定の大学出身のメンバーばかりだったら、工学部卒の技術畑の人ばかり沢山いたら、私のように変な医者がメンバー内に余りに多くいたら、支店長さんが多過ぎたら、アイデアや発想の交換は余り望めずクラブは硬直化し、進歩のない単なる自己満足の社交クラブになってしまうのでしょうか。同質性が高いグループ内では間違っただ判断にも同調しがちになる“集団思考”に陥って方向を誤るのだそうです。こんなことは皆さんはもう知っておられる事でしょうが、いずれにしても広島西RCにおいては現在のところ多様多才なメンバーにより、アイデアの交換が行われており進化、進歩が期待できると思いました。

ありがとうございました。

● **会務報告**

香川(基)幹事

※例会臨時変更

- 5月1日(火) 広島RC、広島西南RC、広島安芸RC 休会
- 5月2日(水) 広島東RC 休会
広島陵北RC 4月29日に変更
- 5月23日(水) 広島陵北RC 休会

※例会終了後、4階「カメラ」においてクラブ協議会を開催いたしますので、理事役員委員長は出席願います。

● **委員会報告**

出席報告 鮫島副委員長

本日(4月19日・木曜日)			
会員数	85名	出席者	76名
欠席者	9名	ご来客	5名
ご来賓	1名	ゲスト	2名
			計 84名
前々回(4月5日・木曜日)			
			出席率 100%



※ **ロータリー情報委員会**

森信委員長

「CLPについて」

☑ **ご入会記念月おめでとうございます。**

- (5名)
- 三浦君(S56年) 松岡(幹)君(S57年)
 - 小島君(S57年) 香川(基)君(H 8年)
 - 神尾君(H23年)

🌸 **創業月おめでとうございます。**

- (12名)
- 井原君 (医)井原クリニック
 - 梶川君 (医)翠清会 翠清会梶川病院
 - 川西君 (株)トータテハウジング
 - 宮崎君 (株)仏光社
 - 尾鍋君 (医・社)たかし会尾鍋外科病院
 - 豊岡君 豊岡ヘルシー歯科クリニック
 - 垂井君 CAF垂井俊郎建築設計事務所
 - 宇田君 (株)広自センター
 - 瀬尾君 (株)クマヒラセキュリティ
 - 藤原君 (学)鈴峯女子中・高等学校
 - 神尾君 (医)翠清会 翠清会梶川病院
 - 大植君 大植法律事務所

● **スマイルボックス**

SAA 柴田委員

😊 **初孫誕生！ 大本君(自主申告・大枚)**

「4月17日、長男夫婦に女の子が生まれました。私にとって初孫になります。」健やかにご成長されます事をお祈り致します。

😊 **孫が1歳になりました！ 篁君**

(自主申告・金一封)

「孫の慶香(きょうか)が1歳になりました。私に似てべっぴんです。」健やかにご成長されます事をお祈り致します。

😊 **建築業界は人手不足 森信君**

4月9日、放映されたNHK「お好みワイド」の中で、東日本大震災の復興特需により、広島の建設業界の現場では熟練工の人手不足が深刻になっているというもの。作業服にヘルメット姿の森信君が取材に答えておられました。建設業界は現場の人手不足で厳しいようですが、森信建設にエールを送りご出宝をお願いします。

😊 **家族会 大成功!! 岡田君、羽井君、藤田君、**

坂田君、井原君、川西君、香川基吉君

4月8日に開催された家族会は晴天となり、参加者は瀬戸内海の素晴らしい風景と見ごろの千本桜を満喫しました。偶然にその様子が4月9日、NHKの「お好みワイド」の中で放映されました。親睦活動委員会の岡田委員長と羽井担当理事、大変お疲れ様でした。また、帰りの船中に行われた「福屋の商品券争奪大じゃんけん大会」で見事賞品をゲットされた藤田君と坂田君、そして、本年度の大きな事業をすべて無事に終了されてホッとされている井原会長、川西副会長、香川基吉幹事、の皆様にもご出宝を頂きました。

😊 **当時30歳の垂井君の活躍 垂井君**

4月16日の中国新聞「ヒロシマの道標」の欄に“非戦論者 復興を称賛”と題して、エドモンド・ブランデンの詩碑について掲載。広島市立中央図書館の北側にある庭に設置されており、ブロンズ製の碑には「ヒロシマよりも誇らしき名をもつまちは世にあらず」と“ヒロシマ1949年8月6日に寄するうた”の英文と和訳が刻まれています。広島日英文化協会が中心の委員会で作成管理を担当したのが当時30歳の垂井君だったそうです。垂井君は公園に設置する手続きとブロンズ製の仕様や強度計算に苦労されたとのこと。皆さん、ぜひ一度ご覧になってください。



日米野球の違い

プロ野球解説者
高橋 建氏

みなさんこんにちは
高橋建です。

ダルビッシュが今年からメジャーをむかえて投げておりますが、キャッチャーが構えているところよりも後ろのバックネット側に投げたりするのは、はっきりした理由があります。日本のボールとアメリカのボールは全く違うんです。日本の各球団でボールが違っていたんですよ。それを統一にしたっていうのが統一球です。限りなくアメリカのボールに近づけたんですけど、アメリカのボールを経験している僕から言わせると全く違うボールです。そして日本のボールは統一球になった時点でミズノのボールを使っています。定価850円らしいです。大学生や社会人がつかっているボールは1200円位します。プロの方が安いっていう話なんです。ボール自体はミズノのボールを使い出して凄く良いボールを使っているので、はっきり言って投げやすいボールを日本では使っています。アメリカのボールは縫い目が若干太かったり、気候によって日本は湿度があるので、ボール自体しっとり感があるんですけど、アメリカのボールは乾燥しているだけあって滑ります。暴投を投げる確率が増えると言う事です。ピッチャーがよくこういう所（首筋）を触っているのを見たことないですかね。ここ（首筋）触ったり、ここ（帽子のツバ）触ったり、舐めたり。実は不正投球です。僕も実は乾燥していたのでマウンドに立っている時についつい舐めてしまったという事があります。やはり三塁審判がよく見ているんですよ。僕の方に高橋だめだぞ、とジェスチャーで教えてくれました。それが三回ほどありました。なのでマウンド上では舐めてはいけません。帽子を触ったり、汗を付けたりするとその動作が不正投球につながるということでマウンドを降りてこういう所（首筋）を触っています。汗をつけたりします。たぶ

んだルビッシュはそういう事をやってもボールがなかなか合わずに暴投を投げたりしているんだと思います。松坂も横浜高校の後輩にあたるので話しを聞いた事あるんですが、一年目ボールの縫い目とかボールの質とかどうだったと聞いたらやっぱり気になりましたと。これだけボールの質は違うし乾燥しているし、滑るということで初めて松坂と会った時は彼の先発の日で、ブルペンに向かう途中で僕に気付いて握手してくれたんですけど、その手はサンオイルだらけでした。ボールが滑らないように付けているんですねさっそく。ダルビッシュはおそらく日本でやっていた時よりもボールの質が違いすぎるとか、そういうのを気にしながら投げているはずですよ。その点、実は今日黒田が負け投手になったんですけど、黒田が頑張っているのはある意味すごいなと思います。ただ良く言われるのが今回日ハムから行ったダルビッシュ、西武から行った松坂、今年和田投手がソフトバンクからアメリカに行ったんですけど、今のところ出てきません。そういう選手は皆ドームで育っている選手なんですよ、ある意味温室育ちっていうんですかね、黒田は僕と一緒に市民球場、狭い所でやってきました。ピッチャーにほんと不利な環境で夏場の風とか太陽の照らしで本当にタフな球場でした。東京ドームとかドームでやってきた選手は上原もそうですよね。東京ドームがホームでやってきたので向こうではなかなかそこそこの成績は残すけど素晴らしい成績は残せないというのがあります。市民球場でやってきた選手はもしかしたらこうやって活躍できたのかなって気がします。その一人が僕もそうですが、日本で一度も防御率3点をきった事ないんですけど、なぜかアメリカでは2.96っていう成績を残せてしかもマイナーでも実は70人か80人くらい投げて防御率は2.3だったんですよ。僕は40歳で向こうにいったので、打ちのめされて帰って来ようと思ったんですけど比較的僕が抑えられたっていうのが不思議でしょうがなかったんです。僕はトロントブルージェイズという所に入団しましたが、キャンプ中にふくらはぎに肉離れをおこしまして、もうクセだったんですけど、それが切れた時点で

数日間は早く治せと明るく言ってくれたんですけど数日後にはもうクビだよと。君はもう要らないからと言われました。本当に簡単にクビを切る世の中だなとアメリカでは感じました。そして運がいいことにクビにはなったんですがニューヨークメッツが左投手が不足しているのだから来てくれないかという話をくれました。キャンプ中に他のチームに移動して他のチームのユニフォームを着る事が出来ました。マイナーとメジャーの差を言わせてもらおうと、マイナーの移動はバスで移動します。しかも向こうのナイトゲームと言うのは7時から始まるんですよ。そして終るのは3時間と考えると10時。そして1時間後の11時に球場をバスで出発して他の球場に行くっていう形なんですけど8時間とか7時間のバス移動です。メジャーに関しては球場から移動するのはチャーターバスがあってそのチャーターバスがチャーター機の横につけてそのチャーター機が現地の飛行場に向かうという形でお客さんに一切触れずに次の目的地にいけるといことで、もう雲泥の差を感じさせられました。そしてお金に関しては僕は契約上マイナーの選手だったのでマイナーにいる時は1日約4万円の契約でした。なので1月120万円そこそこのお金は貰えるんですけど、メジャーに上がったなら1日33万円になるんです。約一千万円の契約がとれました。でも最低年棒がアメリカだと一軍メジャーで四千万円。マイナーだと600万円か700万円。ただアメリカの場合クラブハウス、日本のロッカーですね。日本ではロッカーに全くお金が要りませんが、アメリカは遠征先のロッカー一日いくらか払わないと使わせてもらえないんですよ。そしてステータスでお金をいっぱいもらっている選手は一日100ドルから200ドル払います。僕はメッツでメジャー、マイナーを経験したんですけど、メジャーの時にメッツの約束事でメジャーのクラブハウスを借りるときは最低50ドル払ってくれと。三連戦だと150ドル払ってスパイクを磨いて貰ったりとかユニフォームを洗って貰ったりとかしてました。ただ200ドル300ドル払う選手と僕達とじゃユニフォームの乾き具合が違うんですよ。やはりしっかりと乾かして畳

むってというか、えもん掛けに掛けてくれるのはやっぱりいっぱいお金を払ってくれた人でそういう人のロッカーの回りはいつも綺麗だし、スパイクの磨き方も綺麗だし、お金の世界だなというか、そういうのを感じさせられました。それでメッツでメジャーを迎えられたんですが、アメリカではマイナーからスタートしました。その時はバッファローと言う所で開幕を迎えました。そのバッファローという所は程よく、限りなくカナダに近い所でナイアガラの近くだったんですけど開幕戦ブルペンの選手だったんでブルペンは外にあるんですけど、外の気温を見たらマイナス3度って所でやらされました。不思議な事にアメリカ人って半袖で投げるんだなというのもビックリしたんですけど、その辺でアグレッシブというかタフな連中の集まりだなと感じました。そしてキャンプの話に戻るんですけど、日本では投げ込みっていうのが主流です。アメリカでは投げても一日20球から30球。僕はちょっと一回だけ投げ込みがしたかったのでコーチがもう止してくれて言うまで投げようと思ってとことん投げた時があったんですけど、40球で止められてしまいました。そこら辺が日本と違うシステムだなと感じました。そしてキャンプ中にハラデーというサイヤング賞を二回とったピッチャー。そういう選手っていうのはアメリカっていうのは練習時間が凄く短いんですけど彼らは朝の6時7時に来て既に練習しているという、自分でやらないといけない世界だなと感じました。昔のやり方っていうのは走って走って走って水飲むとか、プールに入らないでくれとか、そういう時代を僕も経験させられました。アメリカは練習時間ははっきり言って短いです。キャンプも日本だと朝の10時から始めて若手だったら4時5時までやって夜ごはんまでユニフォームを着ているっていう形なんですけど、アメリカの場合は午前中に終わるキャンプでした。そこからは皆各個人練習。ウェイト場で黙々とやる人もいれば家族と今から釣りに行ってくるとか、今日はメンバーでゴルフに行ってくるとか、そういう風に好きなようにやっている人間が多かったのは事実です。やはりやらないと駄目だとな

ていうのは日本もアメリカも共通だったなと感じます。やっている選手が成功に近づいている気がしました。アメリカ人、ドミニカもメキシコもいろんな人間が居るんですけど、日本人とは体の大きさが確実に違いますよね。はっきり言って体の違いがあるという事でアメリカのベースボールというのはパワーとパワーがぶつかる野球。日本の野球っていうのは繊細さを兼ね備えた野球という、日本人はコントロールさせるという事が凄い得意です。そして一つ一つのバントとかそういう事が秀でている事も感じました。ただアメリカのパワーを見させられると日本の野球はつまんなくなってしまう。中継ぎでメッツに入った時に感じたのが僕は91マイル。キロで言うと146キロぐらいのスピードまで投げれました。でもブルペンの中で一番球の遅いピッチャーでした。という事はみんな150キロ投げるピッチャーが中継ぎに居たということなんですね。日本人では考えられないことですが、向こうでは150キロというのは普通の世界です。バッティング練習を見させてもらった時にシェフィールドっていう選手がチームメイトにいたんですけど、その当時41歳になる選手だったんですけど、バッティング練習を見るとピンポン玉のように外野に飛ばす。昨日カープのニックが打ちましたけどもあのような打球がポンポン練習では飛びかうようなのがアメリカでした。やはり遠くに飛ばすこととか、スピードボールを投げる事とかがアメリカは凄いなと感じました。日本の良さっていうのは色々向こうに行ったらフレンドリーで、良かった事もいっぱいあったんですが、向こうにいて日本人で良かったなと思ったことは、上下の関係、精神の関係っていうんですかね、そういうメンタリズムっていうのが日本人は強いんだなというのを感じました。先輩を敬ったりとか。フレンドリーなアメリカも良いんですけどやっぱり上下関係とかそういうのは素晴らしいなとつくづくアメリカに行って感じたことでした。そしてアメリカ人と仲良くやる事がアメリカで通用することかなというのを感じました。ここからカープの話をさせてもらいます。福井が今日投げるんですけど心配ごとの一つが、コン

トロールにすごい悩みを抱えながらマウンドに立っているのが現実です。実は福井は凄い頑張りやなんですけど舞い上がってしまうというか、ファーボールに自意識過剰になっているのが福井の今の現状です。それに輪をかけて今日の主審が秋村さんといって元カープのピッチャー。パリーグの審判だったんですけど、実はストライクゾーンが凄く狭いんですよ。なので今日は福井対秋村になるのではないかなと気にしてるんですよ。今日はそれが一番言いたくてしょうがなかったんです。ローテーションをせっかく福井が勝ち取ったので、ほんと長い目で見てほしいんですけど今日は克服する一つの山場かなと思います。二軍で梅津が頑張っている。今梅津が二軍で先発しています。そして今負け投手になっていますが7回で自責点1ですごいピッチングしています。他にも今井とか左の斉藤祐樹も防御率トップ10に入っているピッチャーがいます。で、今二軍が首位に立っています。そういうことに関して二軍はいい野球をしているんですね。ただこの前話を聞いたら二軍もピッチャーが良いと、バッターがおんぶにだっこの状態だと一軍と一緒にだという話をしていました。カープは昨日8点取って打線が上向いたんですけど、二軍にしろ一軍にしろ投手がなかなかいい状況なのは変わりありません。なので福井の代わりは実は居るんですけど、斉藤祐樹にしろ梅津にしろ今井にしろなかなかいいピッチャーは下にはいるという事でうかうかしてられないというのがあります。ちょっと福井をそういう目で見てやってください。審判狭いなという目で見てやってください。ニックがホームラン出始めたりしました。そして昨日のニックへの配球、インコースをどんどん投げているという事でニックに対してインコースを使い出したという事は警戒をもたらしたという事になります。ただニックは横浜戦しか打点を上げていません。ホームランも横浜戦しか打っていません。他のチームにもそういう印象付けをするようになれば本当にいい外国人が入ったなということになります。そして後ろのサファテとミコライオといういい外国人を連れて来たので、はっきり言って他のチームがカープとやる

時は7回8回までカーブが勝っていたらちょっと
厳しいなというのは本当に図式として見れるし、
そして他の球団も感じているそうです。そして先
制点を上げた試合は8勝1分なので本当に良いデ
ータが入っているのも事実です。やっぱり外国人
に頼らざるを得ないというのはやっぱり150キロ
以上投げるピッチャーが日本にはなかなかいない
というのが答えで、しかもミコライオなんかは2
メートル6センチですかね身長が。足が34センチ
か5センチあるんですよ。もうあまりにもでかい
のでびっくりするんですが、ああいうピッチャー
って日本人は練習がしようがないので、やはり初
めて対戦するピッチャーですし、そういう点では
今年ミコライオ、サファテは去年同様素晴らしい。
抑えでは一番いい球を投げると確信している
んですが、そういうピッチャー陣がいるというこ
とで本当に楽しみではあります。

そして、先発はマエケンがいてバリントン、野
村、福井。大竹も成長したあとを見せてくれてい
ます。そして昨日は、東出が猛打賞打ちました。
そして梵がおとといホームランを打ちました。

1、2番が機能すれば、足の速い選手なのでピッ
チャーと言うのは出ただけでいやなんですよね。
選手がランナーとなって3番の丸も足が速いので
そうゆう選手がかきまわしてくれると、栗原も気
楽に打てるし、後ろにニックがいるし、チャンス
の強い広瀬いるし、ベテランと若手がうまくやっ
てくれるんじゃないかという気がしています。
ジャイアンツが結局は出てくるんでしょうが、早
い段階で眠っていてくれたというのはカーブにと
ってはいいことじゃないかなと感じます。そして
他のチームもこれといった抑えが、藤川も満塁を
この間やりましたし、翌日の甲子園でも満塁にな
ったりとかちょっと不安定な所もありました。岩
瀬も元気な時の力が無くなってきたなと思いま
す。そして浅尾に関してもカーブに2点取られた
りだとか開幕の三連戦で。カーブ今年は僕は順位
づけで二位にしたんですけど、本当にAクラスに
入ってくれるような気がします。今年僕は一押し
しているんですけど、堂林。スタースプレイヤーに
なりかねない選手がやっと出てきてくれたって

うのが凄い楽しみです。人間的に最高な人間で
す、彼は。挨拶がしっかり出来るし、これが日本
の良さでもあるんですが、そういう事がしっかり
出来るし、練習をひたむきにする姿も見てい
るし、エラーしても次がんばろうという気持ちも伝
わってくるし、そういう若い選手が出てきたっ
ていうのもカーブの強みじゃないかなと思います。
そして今年カーブが一番強くなる理由の一つとし
て、野村投手が入った事です。彼が入ったこと
によって回りのピッチャーがやる気を出した。な
ので今年カーブは楽しみなので応援してやってく
ださい。で、今日僕は6時からRCCラジオで解
説をするので、よかったら聴いて下さい。たまに
イライラした時にきついコメントを言おうとする
んですけど、性格上なかなか言えません。カーブ
の為にこれからもいろいろな事を言いながら、そ
して選手をバックアップできたらなと思っており
ます。今日はありがとうございました。



● 卓話予告

日時	テ　　マ
5/10(木)	みんなで守ろう　子どもの安全 広島市教育委員会　学校教育部健康教育課 保健・安全係　指導主事　伊藤　謙　一氏